



平成31年3月期 第1四半期決算短信(IFRS)(連結)

平成30年7月26日

上場会社名 富士通株式会社
 コード番号 6702 URL <http://www.fujitsu.com/jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報IR室長 (氏名) 山守 勇

TEL 03-6252-2175

四半期報告書提出予定日 平成30年8月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ向け・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	867,657	6.0	79,593		97,000		75,954		72,756		73,238	485.7
30年3月期第1四半期	922,638	2.5	4,952		7,404		4,648		2,149		12,505	

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
31年3月期第1四半期	35.51		35.51	
30年3月期第1四半期	1.05		1.05	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,056,493		1,253,244		1,134,946		37.1	
30年3月期	3,121,522		1,204,902		1,087,797		34.8	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
30年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		5.00		6.00	11.00
31年3月期(予想)		7.00		80.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年6月25日に開催した当社の第118回定時株主総会において、平成30年10月1日を効力日として、当社の普通株式の10株を1株に併合することが、承認可決されました。この株式併合を踏まえ、平成31年3月期の配当予想について、平成31年3月月末を基準日とする期末配当金を併合の割合に応じて、1株当たりの配当金額を10倍とする旨の修正を平成30年6月25日に行いました。なお、当該配当予想の修正は、株式併合に伴う1株当たり配当金額の予想を修正するものであり、配当金総額の予想を見直すものではありません。また平成31年3月期の年間配当金合計は、単純合算できないため、「-」と表示しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	3,900,000	4.8	140,000	23.3	110,000	35.0	537.85	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 富士通クライアント
コンピューティング株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は5ページ「(5)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項」を参照して下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	2,070,018,213 株	30年3月期	2,070,018,213 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	26,057,083 株	30年3月期	11,290,924 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	2,048,883,962 株	30年3月期1Q	2,050,462,113 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が提出日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ・主要市場における景気動向(特に日本、欧州、北米、中国を含むアジア)
- ・為替動向、金利変動
- ・資本市場の動向
- ・価格競争の激化
- ・技術開発競争による市場ポジションの変化
- ・部品調達環境の変化
- ・提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- ・公的規制、政策、税務に関するリスク
- ・製品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- ・不採算プロジェクト発生の可能性
- ・研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- ・自然災害や突発的事象発生のリスク
- ・会計方針の変更

(株式併合に伴う基本的1株当たり予想当期利益への影響について)

平成30年6月25日に開催した当社の第118回定時株主総会において、平成30年10月1日を効力日として、当社の普通株式の10株を1株に併合することが、承認可決されました。これに伴い基本的1株当たり予想当期利益の算定に当たっては、期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

業績予想値算出の前提となる条件等については補足説明資料(プレゼンテーション資料)をご参照下さい。